

文芸

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。漢字にはふりがなを記入し、数種類に投稿する場合は別にしてください。広報投稿作品の、他への重複投稿はご遠慮ください。

短歌

末武 有二 選

更地には思いの籠る樹一本赤い布切れ結んで残る  
古閑 井上 誠二

在りし日の師の面影を偲びつつダンス仲間とステップを踏む  
惣領 島田 廣子

夕焼けのあかねの濃淡極まりて美しみをし  
安永 守住 孝子

ばし見てをり  
吹く風の運び来る香に誘われる 沈丁花咲く裏庭昏く  
安永 山下たか子

帰省して息子の植えたパンジーを一人眺める  
帰ったその夜  
安永 金子フム子

振り仰ぐ大空に立つ飛行機雲夕日に映える巨大な柱  
安永 河野 光子

復興の道程険し我が町に心とます春の市団子  
赤井 増岡 伸禧

お早うと声をかけたい花々に町の復興日ごとに祈る  
小谷 今吉マキ子

降る雨に水仙の香も遠ざかり冬の戻りと衣重なる  
広崎 瀬戸サイ子

兄に似た高齢の方とすれ違い彼の生涯を想い振り向く  
古閑 井上てつ子

【お願い】 投稿は、一人一首でお願いいたします。

俳句

河野 全平 選

一人まく節分の豆福は内  
花ふぶき一年生よおめでとう  
小池 本田 賀子

みんなの家人集まれば笑ひの輪  
枯枝や雀たわわに春を呼ぶ  
小谷 今吉マキ子

阿蘇遠く野焼きのけむり土筆つむ  
太陽の輝き万物息吹き初む  
宮園 野口志津子

大寒小さむ南九州雪が舞ふ  
あくる年のさくら思ひて花見かな  
馬水 土井 樹雄

鳥引くや復興しるき郷見つつ  
一句鑑賞  
赤井 増岡 伸禧

狂句

田上 富岳 選

済んだかいた 足が棒たい帰るばい  
済んだかいた すったもんだで落ち着いた  
古閑 井上てつ子

済んだかいた 旨か焼酎手に入れた  
済んだかいた やたらと妻の長電話  
広崎 松原まゆみ

済んだかいた 別人のごつよう化けた  
済んだかいた 人ん良過ぎて損ばかり  
馬水 西田 正己

十人十色 顔も違えば気も違う  
十人十色 人の気持ちは分からんね  
赤井 増岡 伸禧

十人十色 私は私好きなごつ  
十人十色 色は白いが腹黒し  
赤井 増岡 伸禧

【お知らせ】 長年、親しんでいた皆さま「狂句」は、都合により今月号をもって終了とさせていただきます。なお、5月号からは「川柳」を始めますので、引き続き、ご投稿をお待ちしています。

川柳のお題 「復興」「自由」

益城の文化財 町文化財保護委員会



砥川

西園寺家住宅(2)

広報3月号で紹介した西園寺家には、主屋の他に梁間2間、桁行11間半の「長屋門」がありました。「長屋門」は武家屋敷の門に使用人用の長屋が連なった門のことをい

いますが、江戸後期には豪農の屋敷にも長屋門が造られるようになりました。西園寺家の長屋門は、伝統木造2階建て白漆喰塗りの瀟洒な建物でした。

1階部分は、厩、農機具置き場などに使用され、2階には使用人部屋、季節労働者の部屋と道具部屋、作物置き場などが配置されています。2階の使用人部屋には窓と手すりが付けられ、美しい立面となっていました。また、和小屋と登り梁の混合する小屋組や、基礎に宇土半島産の馬門石が使われていることなど興味深い建物です。